

## 感染性心内膜炎の予防について

### ★感染性心内膜炎とは？

感染性心内膜炎とは、皮膚や口腔内などの粘膜から体内に侵入した細菌などの病原体が心内膜、弁膜、血管内膜に感染する病気です。先天性心疾患の合併症として発症することがあり、普段から口腔内ケアを心がけるなどの感染予防が大切です。また、以下に挙げる心疾患を有する患者さんでは、歯科処置などの際には抗生剤の予防投与が推奨されています（感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン・2017年改訂版、日本循環器学会）

### ★予防投与が推奨される心疾患：グループ A および B（とくに A は推奨される）

#### <グループ A>

- ・人工弁置換手術後
- ・感染性心内膜炎の既往
- ・先天性心疾患のうち、
  - ・修復術を終わっていないチアノーゼ性心疾患
  - ・人工物（パッチ等）を用いて修復した手術、カテーテル治療後 6 ヶ月以内
  - ・修復術後も人工物周辺に内膜化を阻害する病変が残存
- ・大動脈縮窄

#### <グループ B>

- ・グループ A, C を除く先天性心疾患（大動脈二尖弁を含む）
- ・後天性弁膜症（大動脈弁狭窄・閉鎖不全、僧帽弁閉鎖不全など）
- ・閉塞性肥大型心筋症
- ・弁逆流を伴う僧帽弁逸脱
- ・経静脈的ペースメーカーリードや中心静脈カテーテルの留置

### ★予防投与が必要ないとされる心疾患：グループ C

#### <グループ C>

- ・心房中隔欠損症（二次口型）
- ・心室中隔欠損症・動脈管開存症・心房中隔欠損症の修復術後 6 ヶ月以上経過し残存短絡がない
- ・冠動脈バイパス術後
- ・弁逆流のない僧帽弁逸脱
- ・生理的あるいは機能的心雑音
- ・弁機能不全を伴わない川崎病の既往

あなたの心疾患は、グループ（ A B C ）に該当します

感染性心内膜炎予防が、（ 必要 不要 ）です

予防投与の量は、中学生までは【 小 児 】です

高校生以上は【 成 人 】です